

第56回(2006年度)自動車技術会論文賞受賞について
～論文「燃料の組成がHCCIエンジンの燃焼特性に与える影響」で日産自動車と共同受賞～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、論文「燃料の組成がHCCIエンジンの燃焼特性に与える影響」に対し、社団法人 自動車技術会より「論文賞」を日産自動車株式会社と共同で受賞致しましたのでお知らせいたします。

「論文賞」は自動車技術に関する学術論文のなかで特に優れたものに与えられる賞で石油会社としては、初めての受賞です。また、自動車会社・石油会社共同による燃料の着火性に関する研究発表としては、世界初の事例となります。

HCCIエンジンは、NOx及びCO2の削減と燃費の向上を同時に図ることができる将来の環境対応型エンジンですが、燃料によって燃焼特性が変化し、エンジンの性能に影響を及ぼすため、その開発には燃料の組成面からの詳細な研究を必要としております。本論文は、同エンジンでの燃焼反応機構、発生熱量、それらに及ぼす燃料性状の影響を系統的にかつ広範囲に明らかにする研究成果です。

受賞にあたっては、本論文の内容が、HCCIエンジンの特性向上に多くの知見を与えるものであることに加えて、燃焼分野における学術の進展にも貢献するものである、との高い評価をいただきました。

当社は、行動指針として「Environmental harmony『地球環境との調和』」を掲げています。今後も、地球環境保全に寄与する自動車用燃料の開発・製品化に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指して参ります。

【HCCI: Homogeneous-Charge Compression-Ignitionエンジンとは】

HCCIエンジンとは予混合圧縮着火式エンジンのことで、燃料と空気を予め混合した予混合気を燃焼室に導入し、ピストンで圧縮して高温・高圧とすることで自己着火させます。予混合気を用いる点でガソリンエンジンに、自己着火する点でディーゼルエンジンに近く、両者の中間的といえる新しい燃焼方式のエンジンであり、高効率・低公害を達成し得る機関として注目されています。

記

受賞対象:

「燃料の組成がHCCIエンジンの燃焼特性に与える影響」
(掲載論文 自動車技術会論文集 vol36.No3)

受賞者:

柴田 元 (新日本石油 研究開発本部 中央技術研究所 燃料研究所)
尾山 宏次 ((財)石油産業活性化センター(新日本石油より出向))
漆原 友則 (日産自動車(株) 総合研究所)
仲野 剛 (日産自動車(株) 総合研究所)

以上